

1 磐田市国民健康保険の現状と税率改定について【資料1】

- ・令和9年度までに2・3億円程度まで赤字(歳入不足)を解消する方向が良いと思う。県の平均に近づけるという事の他に、一般会計からの繰入が続くのは不公平感を生み、健全ではない。
- ・赤字削減・解消することは重要ですが、急激な増額では市民の負担は大きい。市民への説明を十分に行い、税を上げていくようにお願いしたい。
- ・増額は被保険者への影響が大きいことから、急激な増額を避けた改定内容で進めるのが望ましい。
- ・保険料が低いことが望ましいが、保険財政の制度改正により、県主体で全県を見ることを考えると、上げるを得ないと思う。
- ・県内市町平均までの増額は変化の少ないやり方で実施する方が良いと思う。
- ・不足分の解消はできるだけ早期に行ったほうが良いと思う。
- ・前回事業費納付金の伸びを見込まなかったが、伸びていることを考えても県の最低ラインで通してくることができたのはありがたい事であったが、これからは多めの増額をしても良いのではないかと。
- ・税率改定を軸に、財政健全化は最優先の取り組みと考える。激変緩和策として、改定回数を増やす(2年に1度→毎年)案については、一定の納得感がある。不足分を単に先送りするのではなく、解消までのマイルストーン(いつまでにどのくらいの目標感)は明確にしておくべきではないか。
- ・被保険者へ与える影響と赤字解消に向けての取組みを考慮すると、令和6～令和10年度それぞれ5,000円ずつ増額することが妥当ではないかと思う。
- ・急激な変化がない様な改定を望む。検討②(5,000円×毎年増額)が良いか。
- ・事業費納付金の毎年の伸びを算定する必要がある、図4(5,000円×毎年)のシミュレーションに沿って実施するのが良い。
- ・基金活用が見込まれるならば、図4(5,000円×毎年)の方法でも良いのではないかと考える。解消年度は過去の市民への説明もあるので、令和10年度が妥当と考える。
- ・改定案について一度に10,000円は過大と思う。検討②(5,000円×毎年)が良いかと思う。県のゴールに対して、ギリギリでなく少し余裕を持った方が良い。
- ・令和6年度については10,000円+ α 令和7～9年度で赤字解消出来るように激変緩和策として毎年改定する。

2 その他

- ・市民への説明を丁寧に実施する必要がある。
- ・決算による剰余金が増えるための施策を検討する。
- ・令和4年度決算剰余金を積立したがすぐ使っても大丈夫なのか。
- ・マイナ保険証の普及により更なる健全な医療制度になることを期待する。
- ・受益者負担(自己負担割合)を増やす。
- ・県内の他市町が赤字解消する中で磐田市は税率改定に取組む時期が遅く、結果県内唯一の赤字となっていることは残念。他市の状況と比較しても磐田市が静岡県内の足を引っ張っているように思う。